



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します！

やさしく
たたくしまし



笠懸小学校

学校だより No.13 2022.7.20

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

1 学期終業式にあたって(ご協力ありがとうございました)

令和4年度の1学期終業式を本日無事に迎えることができました。笠西小と分離して初めての学期であり、これまでと違うところを一つ一つ確認しながらの学期となりましたが、児童のがんばりと保護者の皆様のご協力のおかげで本日を迎えられました。改めて感謝申し上げます。

年度当初から笠懸小学校では、保護者の皆様との連携・協働を重視し、子どもたちの健やかな成長を願う仲間であるという意識をもって教育活動をおこなってまいりました。このことは、今後も変わらぬ大切なこととして継続していきます。

2学期の始業式を皆元気に迎えられること、また、充実した楽しい夏休みになることを期待しております。以下は、終業式で子どもたちにお話しした内容です。ご一読いただければ幸いです。

皆さんおはようございます。今日の終業式にあたって、皆さんの通知表を見させてもらいました。通知表を見た感想を一つだけ言うと、今、目の前にいる担任の先生は、あなたのようによところが分かっていて、一生懸命応援しているということです。だから、2学期も担任の先生を信頼して、自分らしさを出し、学校生活を充実させてほしいと思います。

終業式にあたり、これから2つお話をします。

まず、1つ目は、1学期の始業式にお願いしたことを振り返るお話です。始業式の時に「自分も自分の周りにいる友達も大切にできる人になってほしい」というお話をしました。今ここで、1学期の自分を振り返って考えてみましょう。あなたは、周りの友達を大切にすることができましたか？校長先生は、笠小のほとんどの人ができていたのではないかと考えています。なぜかという、友達を思いやって行動する姿をたくさん見られたからです。そして、「大丈夫だよ。」とか「できるよ。」という言葉は何回も聞くことができたのもうれしかったなと思っています。次に、自分を大切にすることができましたか？これは、「自分を甘やかす」ということではありません。自分を大切にすると意味は、「自分ができることを精一杯やれたか」、「自分に期待している人のことも考えながら頑張れたか」ということです。これについては、「できた!」と感じている人は少ないかも知れません。なぜなら、「これでよい」というゴールがはっきりあるわけではないからです。だから、大切なことは、毎日毎日を大切に少しずつ成長できていると実感できる生活が続けることが大切だと思います。

2つ目は、2学期に向けたお話です。それは、「人としてすべきことを当たり前に行える人になってほしい」というお話です。具体的には、次の5つです。

- ①「目を合わせてあいさつできる人」
- ②「寂しそう(悲しそう)な友達がいたら声をかけられる人」
- ③「一生懸命お話をしている人の話をうなずきながら聞ける人」
- ④「ゴミが落ちていたら拾える人」
- ⑤「他の人の思いやりが分かり感謝できる人」

こんな人が多くなって、もっと素晴らしい笠小になるように、一緒に頑張っていきましょう。今もできている人も多けれども、笠小のみんながこうなってほしいと思っています。

では、楽しい夏休みを過ごしてください。そして、2学期、また元気にお会いしましょう!



屋上から学校周辺をみる(2年生)



笠懸公民館の見学(3年生)



初めての全校集会(5/17)

「みどり5つのゼロ推進授業」を実施しました(5年生)

「みどり5つのゼロ宣言」

- ・1 自然災害による死者「ゼロ」
- ・2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- ・3 災害時の停電「ゼロ」
- ・4 プラスチックゴミ「ゼロ」
- ・5 食品ロス「ゼロ」

みどり市では、持続可能な社会を創るため、左のような宣言を行っています。この実現に向けた啓発活動をみどり市の観光大使であるアンカンミンカン富所さんが推進授業として行い、5年生が参加しました。熱の入った授業に、子どもたちは引き込まれていました。この中



授業をする富所さん

で、「平均気温が2度上昇するとミツバチが絶滅し、その4年後には人類の滅亡を迎える」というアインシュタインの予言が紹介され、驚かされました。また、「みんなカッコイイ大人になって!」というメッセージがありました。2050年のカッコイイ大人とはどんな人なのか?・・・考え続けましょう。